

リーグ戦初先発のFW山下(左)。駒大の「10番」はシュート数0本と、初戦は不完全燃焼に終わった(撮影・中野成博)

KOMAZAWA 1-2 KOKUSHIKAN

追加点奪えず黒星スタート

4月6日 13:50 平塚競技場	
駒大 1 (1-1) 2 国士大 (3位・3)	
得点者(アシスト)	
【国】6分:武岡(PK)	
【駒】18分:島田	
【国】89分:高橋(半田)	
KOMAZAWA	KOKUSHIKAN
GK①矢田雄基(4)	GK①内藤圭佑(3)
DF②武田憲明(4)	DF⑤斎藤雄大(4)
DF③中山友規(3)	DF⑥濱屋祐輝(3)
DF⑤伊藤 龍(3)	DF⑦川邊裕紀(3)
MF③島田祐輝(4)	DF③井筒和之(4)
MF⑩金正也(1)	MF⑦伊東 俊(3)
MF⑭山崎良介(4)	MF⑫小島暢明(3)
(55分)⑬三島康平(3)	MF⑧柏 好文(3)
MF⑪島田祐輝(4)	MF⑨連沼 優(2)
MF⑧山崎健太(3)	(60分)⑭半田武嗣(4)
FW⑩山下真太郎(4)	FW⑩武岡優斗(4)
(78分)⑨田村貴之(4)	(77分)⑨宮内 亨(4)
FW⑬那倉夢人(3)	FW⑤高橋 大(3)
S U B	S U B
GK⑥松浦和己(1)	GK④山田賢二(2)
DF⑭市川祐樹(3)	DF④斎藤貴之(4)
DF⑥濱田 宙(1)	DF②天野恒太(3)
DF⑭山崎紘吉(1)	MF⑥吉野峻光(1)
DF⑭酒井隆介(2)	MF⑭先崎勝也(3)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	細田三二
警告(C)/退場(S)	
【駒】6分:矢田雄基(C)、77分:鈴木寿毅(C)、79分:伊藤 龍(C)、86分:那倉夢人(S)	
【国】62分:高橋 大(C)	
[シュート]10:9[CK]12:8[FK]8:8[直接FK]7:19	
[間接FK]2:4[主審]中込 均[観衆]約500人	

原点を見つめて
08年春、今年も長きに渡って繰り広げられるリーグ戦が開幕した。昨季までスタメンを占めていた4年生が抜けたことで始動する、本場の意味での新生駒大。鈴木主将を筆頭に、今年はどうのようならマ魅せるのか。

注目の初戦は国士大。試合は、開始早々からPKで失点してしまう苦しい立ち上がりになる。押され気味の駒大だったが、18分に那倉のパスに反応した島田が相手DFを抜き去り同点弾を決める。これを機にペー

スを掴んだ駒大は、山崎良、島田の両サイドハーフを中心に攻撃を仕掛ける。後半に入っても試合は駒大ペース。何度も訪れる得点のチャンス:セットプレーやフリーな状態でのシュート。だが、その決定機をものにする事が出来なかった。一点が遠のきつつあったそんな矢先に悲劇が起こる。86分にゴールへ飛び込んだ那倉が、GKに対する危険行為と見なされ一発退場。試合後に「ゴールへ向かっていて、相手に引つ張られていたので、笛が鳴った瞬間にPKだと思ったんですけど。でも審判が絶対だからしょうがないです」と唇を噛んだ。

那倉の退場でバランスが崩れた駒大は、DFの隙をつかれ89分にも追加点を奪われてしまい、そのまま試合終了。開幕白星スタートはならなかった。秋田監督は試合後、敗戦について「駒澤や仲間を思う気持ち。つまり原点の部分で、サッカーが上手いとか下手とか、足が速いとかじゃなくてサッカー部に対するロイヤリティ(忠誠心)が足りない。スキルじゃなくてメンタリティ。気持ち的な事は自分が受け入れて変われば、いくらでも変わる」と語った。本来の「勝ちたい気持ち」を前面に出せば、どんな強豪校でも勝てるだろう。リーグ戦はまだ始まったばかりだ。

(塩田英美)



Komazawa topics

4人が初スタメン 昨年度が4年生中心のチームだったために、開幕戦はスタメンに注目が集まったが、山下、名倉、山崎良、矢田の4人が新たにスタメンで起用された。中でも山下、山崎良はリーグ戦初出場でもある。控えには1年生が3人名を連ねており、途中出場での起用が近いうちにありそうだ。



退場の判定に驚く那倉。彼も初先発の1人だ。

※上記データは全て左側の数字が駒澤。